

女子野球選手に向けたお弁当の開発に関する共同研究

共同研究について

本研究は、令和4年10月～令和6年3月の予定で、東京家政学院大学と株式会社エイジェック、株式会社エイジェックスポーツマネージメントとの間で共同研究契約書を交わしてスタートし、本年度が2年目の最終年度となりました。

内容は、株式会社エイジェックスポーツマネージメントが主催する女子野球大会に出場する選手および関係者対象のバランスの良い美味しい弁当の開発・販売と食育媒体の作成、女子野球選手との交流などを通して、女子アスリートの健康及び体力向上に貢献し、その総合的な評価を行うことです。実践栄養プロデュース実習（卒業研究）の一環として、人間栄養学部人間栄養学科・調理学研究室の4年生も一緒に取り組みました。

弁当の開発

令和5年3月23日（木）に、株式会社エイジェックおよび株式会社エイジェックスポーツマネージメントのご担当者様をお招きして、弁当開発の中間報告会を行いました。5種類の弁当をご提案し、専属管理栄養士の先生や調理ご担当者様より様々なアドバイスを頂いた結果、「ボリューム満点！生姜焼き弁当」「チキンのフレーク焼きランチ」「とりチリ弁当」「チキンと彩り野菜の疲労回復ランチ」の4種類が完成し販売する運びとなりました。



食育媒体の開発

弁当の内容の紹介及び楽しいクイズ形式で食材の紹介を掲載した食育媒体を作成しました。記事の内容は本学で作成、小学生や中学生に理解容易なクイズやレイアウトなどのデザインは株式会社エイジェックのご担当者様のご協力で行いました。



ローズ祭での展示発表

令和5年6月に千代田三番町キャンパスで行われたローズ祭において、本共同研究の取り組みを紹介したポスター展示、栃木市杯第3回栃木さくらカップ2023のPRポスター展示、そして「ホームランクッキー」と称した野球のバットとボールを型どったクッキーを販売しました。来場者からは非常に興味を持ってもらい、クッキーは完売し、この弁当はどこで購入できるのか等の質問も沢山頂きました。



野球大会での弁当の販売および栄養講座

栃木市杯第3回栃木さくらカップ2023がエイジェックさくら球場（栃木市）において行われ、令和5年8月20～21日小学の部、9月16～17日中学の部において本弁当の予約販売と食育媒体の配布を行いました。本学人間栄養学科調理学研究室の4年生5人と小学の部の大会当日に球場を訪問し、昼食時間は本弁当を購入した小学生や保護者対象に学生から献立の紹介を、さらに午後からの栄養教室でも講義の一部の時間を頂き、事前に準備をしていた夏バテ予防の話を学生が行いました。喫食者のアンケートからは、「色々な種類のおかずや主食があって美味しかった」「食べたあとの満腹感も得られた」「丁寧に教えてくれた」「食事の大切さが分かった」などの嬉しい感想が聞かれました。



プロジェクト概要

●テーマ

女子野球選手に向けたお弁当の開発に関する共同研究

●パートナー

株式会社エイジェック
株式会社エイジェックスポーツ
マネジメント

●担当教員

人間栄養学部人間栄養学科
准教授 大富あき子
助手 井野 睦美

●実施期間

令和4年10月～令和6年3月

おわりに

本共同研究に学生と一緒に取り組むことで、栃木市杯第3回栃木さくらカップ2023にご参加の選手や保護者の皆様、またローズ祭のご来学者などに学生らが直接お話できる機会が沢山できました。地域の方々にも本活動を知ってもらい喜んで頂けたことが、学生だけでなく私たち教員もとても有難く思います。

一昨年の熟成黒たまねぎを扱ったテーマから株式会社エイジェック様とは共同研究を続けさせて頂いており、本テーマは2件目となります。お世話になりました関係の皆様方に心より感謝申し上げます。